

ランチョンセミナー3

11月15日（土）12:00-13:00 第3会場（2F 中会議室 201A）

共催：栄研化学株式会社・東ソー株式会社

検査を数字で終わらせない！読み解く力を寄り添う力へ 臨床検査技師による糖尿病治療支援

座長：油野友二（北陸大学医療保健学部）

演者：中川裕美（倉敷中央病院リバーサイド 臨床検査室）

臨床検査は、診断や治療方針の決定に欠かせない重要な情報を提供しています。私たちは、より早くより精確に結果を返すことや、その結果を臨床にアドバイスできる力を養うことに取り組んできました。しかし、報告するだけでは、患者さんの理解や行動変容にはつながりません。とくに糖尿病のような慢性疾患や生活習慣病のマネジメントにおいては、検査結果の背景にある生理的・病態的意義を捉え、それを医療チーム内で共有し、患者さんにわかりやすく伝える能力が求められます。

本セミナーでは、「検査を数字で終わらせない」をテーマに、臨床検査技師が担うべき情報発信の役割、他の職種との連携における立ち位置、患者支援への関わり方について事例を紹介します。検査データをどう「翻訳」し、活きた情報として対話に結び付けていくか、読み解く力を寄り添う力にするために、参加者のみなさまと一緒に考えていければと思っています。